

都市マネジメント分科会（概要）

分科会提案者：国土交通省、松山アーバンデザインセンター

分科会の目的	各種の官民データ、新技術を活用し、都市計画をはじめとする街づくりなど、都市のマネジメントをどのように効率化、最適化するか、その課題、道筋を検討、共有すること。
解決したい課題	各種情報、スマート技術の「都市マネジメント」への活用促進

分科会での活動内容及び期待される成果
<p>■ 分科会での活動内容</p> <p><u>活動1：国内外の事例研究（年度内2回程度）</u> 諸外国や国内の事例紹介、民間事業者の技術等紹介</p> <p><u>活動2：都市マネジメントの全体像、課題、実現方策等に係る討論（年度内2回程度）</u> 「どのような行政課題のスマート化が可能か」「都市マネジメント分野で組み込むべき政策課題とその具体化方策は」等に関する議論</p> <p>■ 期待される成果</p> <p>まちづくりの基本としてのスマートシティの高度化、行政サービスの効率化・高度化を通じた国民生活への貢献等</p>

対象分野	<input type="checkbox"/> 交通・モビリティ <input type="checkbox"/> エネルギー <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> インフラ維持管理 <input type="checkbox"/> 観光・地域活性化 <input type="checkbox"/> 健康・医療 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 都市計画・整備 <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> セキュリティ・見守り <input type="checkbox"/> その他（全分野共通）
-------------	---

国内外の事例や民間事業者の技術動向を踏まえ、街づくりをどのように効率化、最適化すべきか、都市マネジメントのあり方を議論
⇒新技術や官民データを街づくりに活かし、都市・地域の課題解決につながる都市マネジメントを推進

新技術 × 官民データ

今年度の都市マネジメント分科会の活動予定

今年度の活動	活動のメインテーマ	令和3年度は、市民中心のスマートシティの実現に着目し、行政や民間企業等が市民ニーズを的確に把握し、市民が主体的に取り組むスマートシティをどのように実現するかについて議論。
	解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心を高める方法や真の市民ニーズの把握方法 市民の巻き込み方や市民にわかりやすく伝える方法 市民と民間企業の関わり方など

分科会での活動内容 及び 期待される成果
<p>■ 分科会での活動内容</p> <p>活動1：国内外の事例研究（年度内3回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民参画型のスマートシティ先進事例 市民参画につながるデジタルツールの利活用 等 <p>活動2：ワークショップ（年度内3回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民参画の実現に向けた課題の整理 課題解決につながる施策の検討
<p>■ 期待される成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民中心のスマートシティ実現に向けた課題の整理と解決につながる提言

実施スケジュール				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
事例研究		▲	▲	▲
ワークショップ		▲	▲	▲
報告書作成				▶

連絡窓口
国土交通省 都市局 都市計画課 井川、坂本 03-5253-8411 igawa-t2ah@mlit.go.jp sakamoto-i85aa@mlit.go.jp